

今回は、FRH 講演会 の報告です。

## ◇ 澁澤寿一先生の講演会、座談会を行いました！

日時： 令和5年7月4日（火） 14：35～16：15

場所： オンライン講演会及び代表生徒とのオフライン座談会

内容： 本校1・2年生への講演

演題： 「持続可能な未来に向けて 君たちの生きる時代に伝えること」

講師： 澁澤寿一（しぶさわじゅいち）氏 NPO法人 共存の森ネットワーク理事長

協力： 美濃加茂市まちづくり課

講師紹介 1952年生まれ。国際協力機構専門家としてパラグアイに赴任後、循環型都市「ハウステンボス」の企画、経営に携わる。NPO法人共存の森ネットワーク理事長。全国の高校生100人が「森や海・川の名人」をたずねる「聞き書き甲子園」の事業や、各地で開催する「なりわい塾」など、森林文化の教育・啓発を通して、人材の育成や地域づくりを手がける。岡山県真庭市では木質バイオマスを利用した地域づくり「里山資本主義」の推進に努める。明治の実業家・渋沢栄一の曾孫。農学博士。

## ◇ 生徒の感想

◆ DoよりBeと言うことを知ったので、行動よりも、何になりたいか、ということを中心に置いて生活していきたい。経済を向上させるために働くのではなく、生きる意味を問うために働く、と知り、これからの働き方は難しくなっていくなと思った。今はいいや、ではなく、周りのこと、将来のことを考えて行動していきたい。

◆ より良い社会や人生にするために何をするのか、という考え方が改めて変わった。人間だからこそ欲を求めて人生をよりよくしようと思うが、そうすることで世界の誰かが不幸になる。経済を求めれば、環境は破壊される。自分の理想を実現することでよりよくなると思っていたが大切なのはバランスをとることだと分かった。自分と社会を満たしていけるものは何なのか、そこに楽しさを生み出すためにはどうすればいいのか、これからの人生で考えていきたい。一人の人間として自分のために、次世代のために、社会のために生きていきたい。

◆ まず私たちが現代社会に生きる中で「地球の中でどう生きるか」ということが大切だとわかりました。そして、私たちが豊かな暮らしをしている反面環境はどんどん汚染されているという現状にも気づき、考える機会になりました。技術の進歩により、グローバル化が進む現代の中で、互いの国にwin-win出会ったとしても海老の話でもあったようにマングローブの伐採など環境破壊があり、いい事ばかりではなく、色々な視点を持って考えていくべきだと感じられました。SDGsには経済、社会、環境のバランスが大切であるとわかりました。また、「貧しい」というのは満足せずに求め続けることを言うのだと、今日知りました。その感情を他のところに向けられるよう、新しい挑戦をし続けることの大切さもよくわかりました。

色々なことに興味を持ち、お互いに関心と共感を持ちあって生きていきたいです。人生とは生き方づくりであるという言葉もとても心に残りました。とても難しい問題ではあるけれどこれからの未来の世代に繋ぐために考えていきたいです。

（右写真：代表生徒との座談の様子）

